



## OCP-IP、最新版OCPトランザクション・ チャンネル・モデル 公開を発表

最新版TL2チャンネルは以前のバージョンより最高で100%高速化

オレゴン州ポートランド — (2004年11月9日) — Open Core Protocol International Partnership (OCP-IP)は本日、SystemCで導入できるトランザクション・モデルに準拠した、最新版 OCP 2.0 を発表しました。モデルは様々な抽出レベルでOCPを基本としたコミュニケーションが模範となる方法を標準化するもので、結果、モデルの相互運用性と再利用性を確実に向上させます。

最新版OCP SystemCトランザクション・チャンネル・モデルではスピードを最適化したトランザクションレイヤー2(TL2)チャンネルもそのひとつです。この新しいTL2チャンネルは以前のバージョンより最高で100%高速化。最新版にはOCP モニター およびレイヤ・アダプターも含まれます。OCP モニターはトランザクショントレースを保存、CoreCreator®とOCP 2.0仕様で互換性があります。レイヤ・アダプターはトランザクション・モデルとRTLモデルの接続や異なったトランザクション・レイヤ抽出レベルの接続に用います。OCP-IP メンバーの方は、モニターおよびレイヤ・アダプターについてはOCP-IP ウェブサイト [www.ocpip.org/members/home](http://www.ocpip.org/members/home) のメンバーオンリーエリアで入手いただけます。チャンネルモデルはメンバー以外の方もご利用ください。

プロジェクトはTexas Instruments、Prosilog と Sonics Incと共同でNokiaが率いて取り組みました。

「多くの単独の企業が推進する、頑強で、成長著しい基盤を持つOCP。最先端のサービスや製品を提供しています」 OCP-IPのIan Mackintosh会長はいいます。「これらのモデルを確実に提供するため、System Level Design Working Groupが完了した最先端の業務に誇りを持っています」

「新しいトランザクション・チャンネルではOCPソケットの一部として相互運用性と再利用性をさらに拡大しました」 Nokia Technology Platformsの上級スペシャリストのAnssi Haverinenは語ります。「OCP-IPのSystem Level Design Working Groupの創造性に富んだメンバー間の共同作業を率いることができ光栄です」

### OCP-IPについて

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP)は2001年、相互接続が可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する完全なソケット規格として、Open Core Protocol (OCP)を推進・サポートする目的で発足しました。OCP-IPの Governing Steering Committee にはノキア社[NYSE: NOK]、テキサス・インスツラメンツ社[NYSE: TXN]、STマイクロエレクトロニクス[NYSE: STM]、東芝セミコンダクターグループ(東芝アメリカ電子部品社(TAEC))を含む)、ソニックスが参加しています。OCP-IPは非営利団体。完全に支援された、オープンライセンス方式のコア中心プロトコルを初めて提供しました。OCPはIP コアの再利用を容易にし、SoC 設計に必要な期間やリスク、製造費を軽減します。VSIAはOCPソケットを支持していて、OCP-IPはVSI アライアンスのAdoption Groupです。詳細な背景やメンバーシップ情報は [www.OCPiP.org](http://www.OCPiP.org)をご覧ください。

*All trademarks product names and logos are property of their respective owners.*

OCP-IP Association, Inc.

5440 SW Westgate Drive, Suite 217, Portland, Oregon 97221 USA  
Tel: 1-503-291-2560 Fax: 1-503-297-1090 E-mail: [admin@ocpip.org](mailto:admin@ocpip.org)

[www.ocpip.org](http://www.ocpip.org)